

合同 常任委員会

定例会4日目（9月12日）総務産業、文教厚生 of 合同常任委員会を開催。
第4回定例会に上程された議案について執行部に詳細な説明を求めた。

消防団条例の一部改正

〈笠野委員長〉

定数が450名に削減されるが、分団・班編成は変わるのか。女性を各分団に入れる考えは？

〈総務課長〉

若手団員が少なく高齢化が進んでおり、今後、分団も統合の方向。併せて、分団の女性配属も検討を進める。



その他

〈河内副委員長〉

児童福祉と母子保健分野が一体化され4月に設置された子ども家庭センター。

活動状況と課題は？

〈子育て支援課長〉

相談は16件。活動は不登校生家庭訪問、虐待に係る個別ケース会議、DV相談等。課題は困難事案が多く発生。関係機関と連携し誰もが気軽に相談できるセンターにしていきたい。

〈山室委員〉

養護老人ホーム湯の里荘の東隣に蓄電貯蔵施設が計画されている事を村は把握しているのか。把握しているとすれば、どのような施設なのか。村や隣接地の同意が必要ないのか。

〈水・環境課長〉

再生可能エネ活用促進、電力供給安定化を背景に民間の蓄電所導入が進展、業者が来庁した。現行法上、特定電気設備に対する直接的な法律は存在しない。

消防機関への届け出は必要。村は関連条例に基づき指導を行う。書面での同意は必要ない。

〈山室委員〉

蓄電施設自体を否定するものではないが、消防法で危険物とされている施設が福祉施設の隣に計画されている事の重大さを認識し、村長には慎重な対応を求める。

〈市原委員〉

ふるさと納税は村にとって大事な事業であり、貴重な財源だが、年々納税額が落ち込んでいる。やる気が感じられない。村全体で対応すべき。納税者数増、増額のための具体的推進策は？

〈企画観光課長〉

増収に向け返礼品開発等、委託業者と月1回会議と必要（目標額、落ち込み原因分析）に応じ随時協議を行っている。

〈村 長〉

必死に取り組んでおり、通常年末に納税が伸びるが、伸び努力が見られなかったら委託業者を替えるのも選択肢にある。

一般会計補正予算

〈今村竜喜委員長〉

企画費使用料補正額2万円デジタルサイネージの設置場所と、観光費委託料50万円観光PR事業の説明を。

〈企画観光課長〉

役場前に4枚設置する。PR事業は冬場の温泉誘客対策でソラシドエアに委託業務をお願いする。

〈河内副委員長〉

カーブミラー等設置工事（250万円）の箇所と、財源として交通安全対策特別交付金との関りは？

〈総務課長〉

ミラー・ガードレール等危険箇所を区長会にお願いし調査、早急に対応すべき箇所の工事費。財源は後で報告。

ウイナス財産処分

〈橋本委員〉

重要な議案だが、説明と具体的資料が十分ではない。

※協議の結果、本会議終了後、執行部から再度、全議員に資料提供と説明が行われた。